



世界文化遺産

しら かわ ごう ご か やま

白川郷・五箇山の

がっ しょう づく しゅう らく

合掌造り集落





白川郷・五箇山の合掌造り集落は、岐阜県白川村と富山県^{なんと}南砺市の集落で構成され、以下の点が評価され、1995年に世界文化遺産に登録されました。

- 豪雪地帯に合わせた建築様式で、日本の民家の中でも独特の特徴をもつ家屋。
- 大家族制度や地域の生産体制に見合った土地利用の顕著な見本^ふである集落。「結(ゆい)」と呼ばれる住民の相互扶助の仕組みがあり、屋根の葺き替えなどを共同で行っています。大家族が暮らす大規模な空間をもつ造りは、「結」という共同作業で存続してきました。